

独り静かに祈る時

マルコ1：22～39

主の御許に独りで行き、心を集中させ、主の御前で静まる。このことを身につけるなら、膨大な神様の力が私たちに与えられます。しかしもし本気で、神様の御声を聞こうとするなら、そのために少しの覚悟が要ります。それはまず、テレビやパソコン、スマホのスイッチを消し、人目に付かない場所で、30分から1時間ほど、神様と過ごすことに決めることから始まります。

私たちはこの世に生き、地上の事に心が支配されています。その私たちが天におられる神様のみこころを悟るためには、心を主に向け、集中するための自己訓練が必要なのです。

聖書の学び

I、静まって祈る訓練

(Iサムエル3：1～18)

*偉大な聖徒たちは、独り神様の前に出て、神様の御声に耳を傾け、造られます

1、少年サムエルはどのようにしていたのでしょうか？

①サムエルはどこに居ましたか？(Iサムエル3：3)

②あなたにとって、神の直ぐ近くとはどういうことでしょうか？

2、サムエルに対する霊的訓練

①主の御声と分かるまで、何度も聞く。(Iサムエル3：4～10)

②心を静めて、聞く準備をする：従う心の備え (Iサムエル3：9)

③主の御声に真つ直ぐに耳を傾ける(Iサムエル3：10)

Ⅱ、独り静かになる時間

(マルコ1：22～35)

1、イエス様はいつも人々が側にいて、非常に多忙でしたが、神様の前で静まる自己訓練をされていました。イエス様はどのような生活をしておられたのでしょうか？

①マルコ1：32--- 夕方（涼しくなる頃）

②マルコ1：35--- 早朝（まだ人が起きない時間）

③マルコ2：13--- 時間がある時

④マルコ1：39--- 昼間（ガリラヤ全地を歩き巡る）

2、父なる神様と祈りの中で深く交わられたイエス様に、何が与えられたのでしょうか

①マルコ1：22--- 神の権威が与えられる

②マルコ1：34--- 病気のいやし、悪霊を追い出す。

③マルコ2：10--- 罪を赦す権威

④マルコ10:32～34--- 十字架に向かう力、みこころに従う力